

二〇一九年度 経済学部 一般入学試験問題 (A日程)

国語総合

(二月二日)

第1問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係により本文は省略します。

出典 (平川克美『グローバリズムという病』より一部を改変した)

問1 \_\_\_\_\_ (a) ~ (i) について、「 \_\_\_\_\_」内の漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①~④のうちから、それぞれ一つ選んで、答えなさい。

解答番号は a 、b 、c 、d 、e 、f 、g 、h 、i 、

- (a) 「レン」カ
- ① 着こなしがセン「レン」される
- ② 彼はセイ「レン」潔白な人柄だ
- ③ 負の「レン」サを完全に断ち切る
- ④ 彼は「レン」キン術師と呼ばれる
- (b) モ「サク」
- ① 辞書の「サク」インで単語を探す
- ② あまりの衝撃に一瞬「サク」ランする
- ③ 家の周りをテッ「サク」で囲う
- ④ 作文をテン「サク」して返却する
- (c) 「ケン」チョ
- ① 雑誌の「ケン」ショウに応募する
- ② 家を買うために「ケン」ヤクしている
- ③ 支店に調査員をハ「ケン」する
- ④ クリスマスに「ケン」ピ鏡をもらう
- (d) クウ「ソ」
- ① 解決のために必要な「ソ」チを講じる
- ② 親せきとの関係が「ソ」エンになる
- ③ 安くても「ソ」アクな物は買わない
- ④ 裁判におけるハイ「ソ」が決まる
- (e) 「ジョウ」ヨ
- ① 彼へのカ「ジョウ」な期待は避ける
- ② 話が「ジョウ」チョウで眠くなる
- ③ 部屋の扉を確実にセ「ジョウ」する
- ④ 酔の「ジョウ」ゾウ工場を見学する
- (f) 「ヒ」ダイ
- ① 友人の前で特技を「ヒ」ロウする
- ② 自分を「ヒ」ゲしすぎる必要はない
- ③ 事件で大臣が「ヒ」メンされる
- ④ 畑の野菜に「ヒ」リョウをまく
- (g) ブン「ケン」
- ① 彼女を「ケン」シンの的に看病する
- ② 空港で植物の「ケン」エキを行う

(h) ユウ「グウ」

(i) キョウ「ハク」

③ 宝石の「ケン」マ職人に憧れる ④ 敵チームの「ケン」ゴな守りを破る

① カメに乗ってリュウ「グウ」城に行く話を読み聞かせる

② 申込書類にハイ「グウ」者の有無を訪ねる質問項目がある

③ 教訓的で難しい話でも「グウ」ワにすれば子ども達に伝わる

④ 海外旅行先でばったり会うなんて本当にキ「グウ」なことだ

① 彼女の「ハク」シキぶりに感心する ② 新刊が人気に「ハク」シャをかける

③ 親を見捨てるなんて「ハク」ジョウだ ④ 舞台で「ハク」シンの演技を見せる

問2

(A)～(E)について、ここでの意味として最も適切なものをそれぞれ一つ選んで、記号で答えなさい。

解答番号は A 10、B 11、C 12、D 13、E 14へ

(A) 趨勢

- ① 複雑な関係 ② 一時の流行 ③ 強引な勧誘 ④ 全体の流れ

(B) エキゾチズム

- ① 既に存在しない異国的な情緒 ② 元来の姿とかけ離れた人工物  
③ 辞書等でしか見られない模範 ④ 勝者が主導する最大の勢力群

(C) ナショナルアイデンティティ

① 国家的倦怠感  
③ 民族的一体感

② 伝統的選民感  
④ 特有的浮遊感

(D) 喧伝されている

① 目上から目下の立場の者へと言いつたえられている

② 広告媒体を利用して購買意欲を高められている

③ 有無を言わせない絶対的な勢いで強制されている

④ 盛んに言いはやして世間に広く知らされている

(E) 位相

① 相手

② 程度

③ 時期

④ 性質

問3 次の一文は、文章中の

1

6

のどこに入るか。最も適切な箇所の番号を一つ選んで、

記号で答えなさい。

解答番号は15へ

しかし、人間の生活は生まれてから死ぬまでの生身の身体性の中に閉じ込められており、無限に成長することはない。

①

1

②

2

③

3

④

4

⑤

5

⑥

6

問4 (I) の「そわそわしてしまうようなところがある」のはなぜか。文章を読み、本文の内容に最も適しているものを一つ選んで、記号で答えなさい。

解答番号は[16]へ

① 日本人の中に、西欧を理想として何とか追いつこうと国を挙げて懸命に取り組んできた記憶が残っているので、現在でも同じように何とか英語を習得して海外に出ていかなければならないような焦りの感情が無意識に湧き出てきてしまうから

② 日本人の中に、西欧を中心とした市場経済導入の副作用を受けずに経済大国仲間入りした成功体験が残っているので、現在でも同じように何とか世界で戦って東アジアの辺境に位置する農業国という自己規定から離れたいと望んでしまうから

③ 日本人の中に、英語を習得することに対する明治期以降の国全体としての強い苦手意識が残っているので、現在でも相当努力しなければ世界で大流行中の西欧化についていけないから頑張らなければならぬと勝手に追い詰められてしまうから

④ 日本人の中に、英語を共通言語として学んで近代国家の仲間に入りたいという無意識下の憧れが残っているので、現在でもそうなり切れておらず進歩の積み上げが足りていない事実気付かされて何とか逃れたいと恐怖感を喚起されてしまうから

問5 (II) の「会社における共通言語さえも母語である日本語ではなく、英語にすべきだというもので現れてきた」という風潮に対し、筆者はどう考えているのか。文章を読み、本文の内容に最も適しているものを一つ選んで、記号で答えなさい。

解答番号は17へ

① グローバルビジネスというものがあることは否定しようもない事実であり、英語で円滑にコミュニケーションできる人材がいることで多国籍企業同士のコミュニケーションコストを大幅に削減できるのであるから、今後の企業にとって最優先すべき合理的な判断で重要なことだと考えている

② 母語ではなく習い覚えた英語で英米人とビジネスをしなければならないのはフェアでも透明でもなく、日本人特有の非合理的な価値観や伝統的な文化への性急すぎる影響から逃れることができないものであるから、ビジネスのグローバル化を要請するか否かは経営者の選択によると考えている

③ 私たちは自分たちの母語でさえ完全に習得しているとは言い難いが、英米人がつくり出した英語は海外雄飛を厭わない世界で戦える若者をはじめとするグローバル人材でないと習い覚えようがないものであるから、日本の教育機関は優先的に英語使用の育成を図るのが急務だと考えている

④ 多国籍企業における英語の採用は合理的な判断かつ経営者の自由であるものの、母語以上に英語が重要という

ことはあり得ず、有能な母語使用者を損なうことは企業にとって損失になり得るものであるから、無批判的に英語使いやグローバル人材育成を重視することには違和感があると考えている

問6 (Ⅲ) の「人間というのは本来的に、ローカルな存在である」とはここではどういうことか。文章を読み、本文の内容に最も適しているものを一つ選んで、記号で答えなさい。 解答番号は[18]へ

- ① 人間は身体的な限界からも分かるように、一生日本を出ることなく閉じこもって小さなことを考えて暮らしていくのが幸せだということ
- ② 人間は身体的な限界からも分かるように、一定の限られた範囲の中で身近な人々や物事と関わり生活していくのに適しているということ
- ③ 人間は身体的な限界からも分かるように、飛行機や船に乗ることなく自分の脚で歩いて移動できる地域で生きていくのが良いということ
- ④ 人間は身体的な限界からも分かるように、生まれ育った土地でモノ等をつくり耕作することで生活を営んでいくのに好都合だということ



問7 (IV) の「言語搾取」とはどのようなことを指すか。文章を読み、本文の内容に最も適しているものをつ選んで、記号で答えなさい。

解答番号は19へ

① 本来各自の功績である言語力を社内で開示させ、英語が使える者だけのことさらに取り立ててその出てきた成果を企業が横取りしているということ

② 本来多様な基準がある有能なビジネスマンの条件を無視し、英語力のみを唯一の基準としてそれを習得する以外の意欲を企業が奪っているということ

③ 本来自由である使用言語の選択を認めず、英語以外は重要ではないと頑なに信じ込ませてその偏った思想を企業全体のものとしているということ

④ 本来大事にしなければならない母語である日本語を取り上げ、英語を使用せざるを得ないようにしてそれを企業がしぼり出させているということ

問8

空欄

ア

に当てはまる最も適切な表現を一つ選んで、記号で答えなさい。

解答番号は20へ

① 数が多いというのは特別な価値があるものである

② 数が多いというのは価値があるということとは違う

③ 最多話者の言語というのは優れているものである

④ 最多話者の言語というのは優れているものではない

問9 (V) の「霸権的なバイアスがかかっている」とはここではどのようなことか。文章を読み、本文の内容に最も適しているものを一つ選んで、記号で答えなさい。

解答番号は 21 へ

① 英語を母語としない国同士の取引は無効になるという排他的な空気が存在していること

② 英語を習得し得ない非母語話者の取引は軽んじられるというルールが存在していること

③ 英語を母語とする英米人が強者であるという一方的で偏った先入観が存在していること

④ 英語を習い覚えた有能な使用者が勝者であるという普遍的な不文律が存在していること

問10 (VI) の「郷に入らない選択」とはここではどのようなことを意味しているか。文章を読み、本文の内容に最も適しているものを一つ選んで、記号で答えなさい。

解答番号は22へ

- ① グローバリズムという世界的趨勢の中でも、グローバル人材の育成や英語教育を当然必要なものとして踊らされて過度に重視するのではなく、自分たちの言語と言語圏の文化を大切にし、非対称的で一方的に押しつけられたルールの存在するグローバル化から一定の距離を置くという選択
- ② 世界で戦える英語使い育成の急務という世界的課題の中でも、国家の教育理念として英語教育を最優先にするのではなく、有能な母語使用者の保持を目的とし、英語ができなければ英語圏における文化的な活動の一つであるグローバルビジネスに携われないという意識を捨てるという選択
- ③ グローバルビジネスは英語を媒介として行うという世界的了解の中でも、一方的に押しつけられたルールにやむを得ず消極的に従うのではなく、各国や地域がそれぞれの母語を用いて、各言語圏特有の文化を重視した方法で内向きにならずに意欲的に海外雄飛を目指していくという選択
- ④ 多国籍企業の台頭という世界的兆候の中でも、潜在力のあるマーケットを国外の広範囲に求めるのではなく、手痛い副作用を経験した南米諸国や国民皆が西欧にコンプレックスを感じていた明治期の日本を参考とし、ビジネスのグローバル化を避けて国内のみで完結させるといふ選択

## 第2問

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係により本文は省略します。

出典（鷲田清一『わかりやすいはわかりにくい？—臨床哲学講座』より一部を改変した

問1 \_\_\_\_\_ (a) (b) について、 \_\_\_\_\_ 部分の正しい読み方を、次の①～④のうちからそれぞれ一つ選んで、記号で

答えなさい。

解答番号は a 、b へ

(a) 苛こまれ

①

「ウト」まれ

②

「コバ」まれ

③

「サゲス」まれ

④

「サイナ」まれ

(b) 鎮ちんめる

①

「シズ」める

②

「オサ」める

③

「イマシ」める

④

「カス」める

問2 次の一文は、文章中の   のどこに入るか。最も適切な箇所の番号を一つ選んで、記号で答えなさい。

解答番号は  へ

このように他人に自分の存在理由をあたえてもらおうとしているうちに、他人が見ていてくれないと何もできないようになる。

- ①       ②       ③       ④       ⑤       ⑥

問3 本文における筆者の文体と論の進め方について説明したものととして、最も適切なものを一つ選んで記号で答えなさい。

解答番号は  へ

① 直喩や暗喩などの修辭法をふんだんに用い、たとえ話調の文章全体を大局的に眺めると隠された論旨が浮かんでくるように工夫がなされている

② 高度な専門用語や術語を惜しみなく用い、一見取りつきにくい文を精読していくうちに高度な知識に裏付け

された論旨が学べるようになって

③ 口語体や卑近な表現を適宜効果的に用い、身近な実例を感じながら平易な文を読み進めていくなかで自然と論旨が伝わってくるようになって

④ 参考文献からの紹介や引用を豊富に用い、情報量の多い文章を丹念に追っていけば多角的な読み比べから論旨にたどりつけるようになって

問4 (I) の「基本的には同じ視点に立つべきだと思う」のはなぜか。文章を読み、本文の内容に最も適し

ているものを一つ選んで、記号で答えなさい。

解答番号は27へ

① 現行の法や社会制度では、高齢者や乳幼児等を弱者と捉えて様々なケアをする仕組みとなっているが、実際にはそういった一般的に他者の助けが必要だと考えられている人々に限らず、人間はだれもが何かしら弱みがある存在であることは変わらないため、立場を問わず全員が助けを必要としているから

② 現行の法や社会制度では、高齢者や乳幼児等他者に何かをしてあげることが困難な人々から優先的に主たる対象者としてケアしているが、実際には労働者や専業主婦も日々自分自身の存在意義を自問自答するだけで精一杯の存在であることは変わらないため、両者とも等しく助けを必要としているから

- ③ 現行の法や社会制度では、高齢者や乳幼児等「これができたら」と社会的に望まれる資格や能力を持ち得ない人々に目を向けているが、実際には人は皆各自の立場に期待される条件を満たさず不要の烙印を押される可能性が付きまとうため、そうした看過されがちな人々をも救済できるシステムが必要だから
- ④ 現行の法や社会制度では、高齢者や乳幼児等一般的に弱いと考えられているところに支援を集中させて社会からの共感を得る方策がとられているが、実際には全ての人々に不完全性のある弱者とも言える存在に転落し得る可能性が付きまとうため、いざという時に速やかに救済できるシステムが必要だから

問5 (II) の「わたしたちの社会がとことん『する』の論理で成り立ってきた」とはどのようなことか。

文章を読み、本文の内容に最も適しているものを一つ選んで、記号で答えなさい。

解答番号は28へ

- ① 子ども時代の成績や過去の成果があるだけでは社会的に不完全と否定されてしまいがちで、人生を通して常に新たな資格取得に挑戦し続ける条件を満たしてはじめて存在理由が認めてもらえる社会だということ
- ② ただ漫然と存在しているだけでは社会的に不要と決めつけられてしまいがちで、人生を通して常に能力や資格といった条件を満たしていることを外に向かって証明し続ける事ではじめて肯定される社会だということ
- ③ 自分の存在価値を無条件に承認してくれる他人を消極的に待っているだけでは不完全だと思われてしまいが

ちで、共同的な組織の中で能動的に他者を求めていく事ではじめて充分だと考えられる社会だということ

- ④ 周囲に面倒を見てもらったり世話をされたりしているだけでは不要な存在だと責められがちで、共同的な組織の中で他者に何かをしてあげるといふ条件を満たしてはじめて価値があるとされる社会だということ

問6 (Ⅲ) の「いまわたしたちにほんとうに必要な」なのはどういう「関係」だと筆者は考えているか。文章

を読み、本文の内容に最も適しているものを一つ選んで、記号で答えなさい。

解答番号は[29]へ

- ① 自己の「死」に触れ続ける不安感から逃れるための救いとしての関係ではなく、互いに見守り合っていれば自己実現が成し遂げられるという、社会的にも前向きな意義を持った関係
- ② その人がいなくなったら生きていけないという別離の不安が付きまとう関係ではなく、物理的な距離を置いていても心的に肯定し合っていけるという、一心同体とも言える強い関係
- ③ 自分の共同体内での価値の承認を一方的に求めるだけの関係ではなく、双方向に無条件であることを前提とした上で、互いの存在理由を与え合って自己実現につなげていけるような関係
- ④ 無条件に肯定しあって安心感を得たいがための甘えた相互依存関係ではなく、双方が独立した個であることを前提とした上で、共同体の中での各人の価値を認め合っていけるような関係



### 第3問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

**著作権の関係により本文は省略します。**

出典（藤原正彦『国家と教養』より一部を改変した）

問1 (I) の「十分な知識や情緒や形を得るために、実体験だけで足りるか」という問いに対して、筆者はどのように考えているだろうか。

筆者のこの問いに対する答えを本文中から読み取り、文中の表現を用いて百五十以上二百字以内でまとめなさい。  
なお、記述の際は、以下の二点の指示に従うこと。

解答は記述式用解答用紙へ

指示一 本文の一段落のみからまとめて抜き書きするのではなく、複数箇所から引用してまとめること

指示二 問いについての自分の考えではなく、本文中から読み取れる筆者の考えのみを記載すること